

健幸都市インデックス（SWCバリュー）による評価

◎健幸都市の総合評価であるSWCバリューの**2.0星**（満点3つ星/前年**2.0星**）を見附市が獲得し、5月に開催されたSWC首長研究会で表彰が行われました。

◎総合得点は**6.2点**（10点満点/前年**6.1点**）でした。



【健幸都市インデックスとは】

- 自治体の健康施策の成果を客観的データから分析し星取り数で表示するものです。
- 今年度の基データは**令和元年度**に実施した成果となります。（1年遅れの評価）

【健幸都市インデックスの構成】

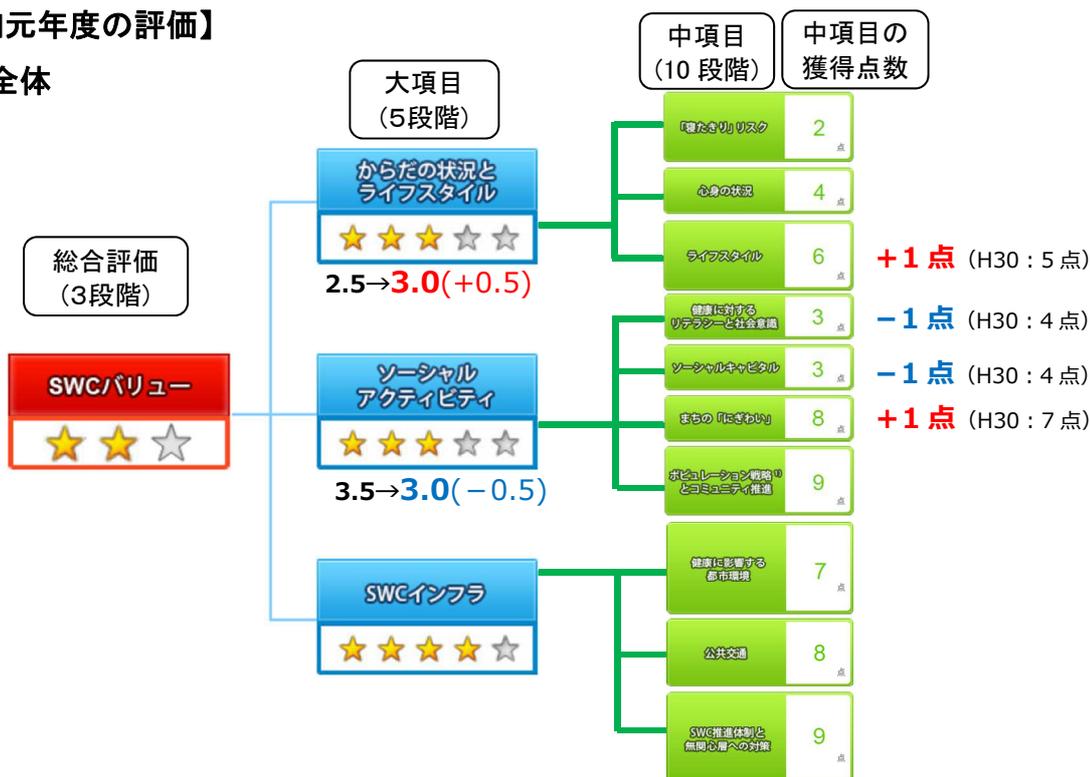
- 大項目（3項目）－中項目（10項目）－小項目（28項目）で構成し、それぞれの項目に対し重要度に応じた評価のための重み付けが行われ、点数が算出されています。
- 「SWCバリュー」は、6段階評価で☆（最高点は☆☆☆）の数で表され、健幸なまちづくりが総合的・客観的に評価されるものです。

【健幸都市インデックスの評価】

- 見附市が**2.0星**を獲得した他、岩手県遠野市、京都府八幡市が1.0星、福島県棚倉町、埼玉県美里町、福岡県川崎町、熊本県あさぎり町が0.5星を獲得しています。

【令和元年度の評価】

① 全体



② 総合評価

総合得点が前年度より 0.1 点増加し、総合評価は 2.0 星（最高は 3 星）の評価を得ています。

総合評価（最高☆3個）	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績	R5年度目標
SWCバリュー（☆の数）	1.5	1.5	2.0	2.0	3.0

③ 大項目の評価

「からだの状況とライフスタイル（+0.5）」が向上、「ソーシャルアクティビティ（-0.5）」が低下しました。

大項目の評価（最高☆5個）	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績	R5年度目標
1. からだの状況とライフスタイル	2.5	2.5	2.5	3.0	4.5
2. ソーシャルアクティビティ	3.0	3.0	3.5	3.0	5.0
3. SWC インフラ	3.5	4.0	4.0	4.0	5.0

④ 中項目の評価

「ライフスタイル（+1）」、「まちのにぎわい（+1）」が向上、「健幸に対するリテラシー（-1）」、「ソーシャルキャピタル（-1）」が低下しました。

中項目の評価（満点10点）	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績	R5年度目標
1. からだの状況とライフスタイル：施策により結果的に変化する指標					
1-1. 寝たきりリスク	3	2	2	2	9
1-2. 心身の状況	3	3	4	4	9
1-3. ライフスタイル	6	6	5	6	9
2. ソーシャルアクティビティ：施策が直接的に影響する指標					
2-1. 健幸に対するリテラシー	5	5	4	3	10
2-2. ソーシャルキャピタル	3	3	4	3	10
2-3. まちのにぎわい	6	7	7	8	10
2-4. ポピュレーション戦略とコミュニティ推進	9	9	9	9	10
3. SWC インフラ：施策が直接的に影響する指標					
3-1. 健康に影響する都市環境	6	6	7	7	9
3-2. 公共交通	6	7	8	8	9
3-3. SWC 推進体制と無関心層への対策	8	8	9	9	10

※評価点の見込み

見附市は Smart Wellness City 首長研究会を代表し「With コロナによる健康二次被害を社会参加やスポーツで予防し国民を“健幸”にするための緊急提言」を政府に対して行う等、コロナ禍における健幸都市推進を継続して行っています。

令和元年度は、からだの状況とライフスタイルについて、サルコペニア肥満者の減少、運動習慣の改善等が確認され、ライフスタイル指標が総合的に向上しています。ソーシャルアクティビティについて、健幸に対するリテラシー等一部減少している項目もありましたが、まちのにぎわいが増加しています。それらの結果、総合得点は昨年度から 0.1 点の増加を達成しました。